



新キャンパスの動物教育実習棟について

2016年の熊本地震により甚大な被害を受けた東海大学農学部は実習の充実が課題となっていたが、2023年度より阿蘇くまもと臨空キャンパスが運用開始となり、それに伴い新たな実習場を確保することができた。新キャンパスの牧場ではさらに防疫体制も徹底させ、アニマルウェルフェア向上を目指した多目的畜舎を配置している。



乳牛1頭当たりのスペースを十分に確保したフリーストール牛舎。ストール枠の素材は特殊PVCで、牛の怪我リスクが低減。



過搾乳のリスクを減らす自動離脱方式のオートタンデムパーラー。



バタリーケージと比べ、採卵鶏の行動範囲を大幅に広げたエイビアリーシステム。



ストール枠を撤去した豚分娩設備、PigSAFE。巣作り行動を発現することができる。